大阪産（もん）の花で彩ろう！大阪・関西万博に向けた夏の花壇苗の評価

食と農の研究部 園芸グループ

■背景と目的

2025年大阪・関西万博に向けて、公共場面における花壇苗の需要の高まりが期待されます。一方、万博会場では、大阪特有の高い夜温とベイエリアでの強い潮風の影響を受けるため、耐暑性、耐湿性および耐塩性をもつ花壇苗の有望品目・品種の選定が重要です。

2023年舞洲花壇
（７月定植時）

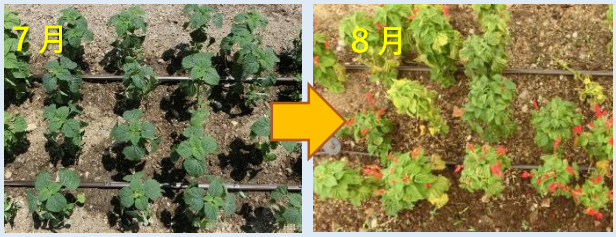
■調査の方法

2020～2022年の3年間に夏季花壇用苗約200品種を用いて所内ほ場で生育、開花状況、耐塩性、耐湿性を4段階の基準で評価しました。さらに2023年7月に舞洲内露地花壇（約400 m^2）に花壇苗42品目166品種を定植し、9月まで栽培して生育および開花状況を同様に評価しました。

耐暑性

・ペチュニア・ラテリーナは生育が非常に旺盛で花つきも良好でした。
・サルビアは植付け後の生育が悪く、草姿は変わりませんでした。
・トレニアの生育は良好でしたが、開花は少なめでした。

ペチュニア・ラテリーナ・パープルアイス

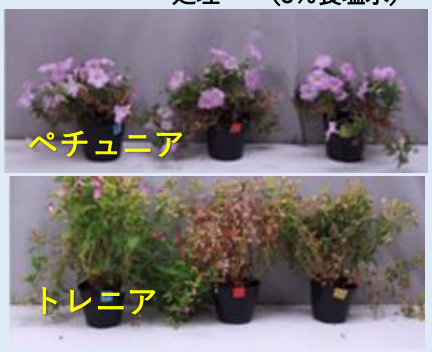


サルビア・モハベ・レッド

トレニア・カウアイ・ブルー

耐塩性

・ペチュニアは３％食塩水でも障害は現れませんでした。
・高温で生育が良好だったトレニアの耐塩性は低い結果となりました。



耐湿性

・アンゲロニア、センニチコウ、ジニア等は生育が良好でした。

耐湿性の比較栽培
高湿度区は早朝ミスト灌水を実施

■栽培指針の作成

2020～2023年の評価を花壇苗品質評価表にまとめ、花壇設置時の苗選定のため、造園業者や生産者の利用を想定した指針「夏の花壇苗選びのコツ　大阪産200品種くらべました」を作成しました。花壇苗利用時に広く活用してください。

https://www.knsk-osaka.jp/nourin/gijutsu/techinfo_kirihana/kadannae.html

作成した花壇苗栽培指針

農林水産省補助事業「ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」の支援を受けて、
本研究を実施しました。（2020～2023年）

おおさか環農水研 RIEAFO